

# NPO 法人チャレンジド 活動報告書

石川ゼミ

## 1. 活動先紹介

NPO 法人チャレンジドでは、「障がい当事者と共に学び、共に生きる」をモットーに、美浜町の全ての人々が安心して生活できるような街づくりを進めている。また、ヘルパー育成などの活動を通して、障がいの有無に関わらず、地域の人々が自然に支え合えるような環境を目指している。チャレンジドでは、日中一時支援、ヘルパー派遣、相談支援、講師派遣を主な活動として行っている。

## 2. 活動内容

私たちは、この夏に「ちゃれっこクラブ」という日中一時支援、サマーキャンプ、ちゃれっこ祭りの3つの活動を行った。

<ちゃれっこクラブ>

### ・活動内容

三人、別々の日に活動しました。だいたい、みんなで、海に行って、昼に戻ってきてお昼ご飯を食べて、部屋で遊んで帰るという流れです。中には、海が苦手な子もいるので、そうゆう子は、お昼ごはんをゆっくり作ったりしました。

また、最後の日に、みんなで集まって何かやる予定だったのですが、ちゃれっこ祭やキャンプの準備で企画とスタッフの人と打ち合わせができなくて出来なかった。



### ・感想・反省

はじめは、お互い探り探りの状態でなかなかうまく接することができなかったが、スタッフの方がフォローしてくれたので本当によかった。慣れてきたら、みんなを観察する余裕がでてきて、一人ひとりの何気ない表情や好きなことがわかった。そのおかげで、話の話題ができ、話すことができた。

しかし、今回は、他の企画などで、ちゃれっこクラブでやる内容が、考えることができなくて、本当に毎日子供たちと遊ぶことで精いっぱいでした。

### <ちやれっこサマーキャンプ>

#### ・活動内容

日時：2010年8月25日（水）、26日（木）

参加者（対象者）：美浜町及び近隣地域の障がい児、中学生、大学生、一般ボランティア、事務局スタッフ



このちやれっこサマーキャンプはチャレンジドさんでのほぼ初めてのお泊り企画ということで、「日常では味わえないこと」をテーマに地引網、BBQ、海水浴、花火など様々な体験を子ども達と共にした。わたしたちは、準備の段階からさせて頂いた。事前にBBQ、地引網を行う内海の海に下見へ行き、トイレや着替える場所を確認したり、海水浴の後に入る温泉の予約などを行った。

#### ・感想

地引網では皆力いっぱい網を引いていたが、打ち上げられた魚を見て、少し怖がっている子もいた。海水浴もそれぞれ、思い思いに楽しんでおり、私たちが企画した海岸でのレクも予定通りとはいかなかったが、楽しく行うことができた。

夜は少し寝付けない子もいたが、帰りたいという様子はなく、無事二日間の日程を終えることができた。この活動を通して思うことは、やはり親さんやスタッフさんの力がすごく大きかったということである。無事、成功したということもそういう方々の力があつたからこそだと感じた。

### <ちやれっこ祭り>

#### ・活動内容

チャレンジドで9月19日に行われた。チャレンジドの職員の方々と私たちサービスマーケティングのメンバーで、企画や準備する物を分担し、当日に備え準備をした。当日は、焼きそばや焼きとり、山菜おこわなどの出店を出し、バザーも出した。企画では、大道芸、盲目のヴァイオリニスト穴澤雄介さんのコンサート、ビンゴゲーム、日福のサークルあかとんぼさんによる人形劇を行った。



#### ・感想

当日は80名ほどの方が参加してくださった。準備の時に、チラシを近くのお宅に配って回ったのだが、あまり回ることができなかったので、もう少し沢山の方にチラシを配れるとよかった。当日、子ども向けに何か企画をやる予定だった。しかし、準備ができず、当日できなかったのが残念だった。また、当日に焼きそばや山菜おこわ、焼き鳥など多くの食べ物を売ったのだが、焼き鳥が予想以上に完売するのが早かった。だから、もし来年もお祭りをやるのであれば、今年の売れ行きを参考に食べ物の個数をちゃんと見直していくべきだと思った。

反省点もあるが、当日大きなトラブルもなく、無事に終わる事ができてよかったと思う。

障がい児やその親御さん、ボランティアさんたち、チャレンジドのスタッフの方々など多くの人と関わることができた。多くの方の笑顔を見る事ができ、とても嬉しく思い、やってよかったと感じた。

### 3. 活動全体を通して

この夏の活動全体を通し、私たちは、企画していくことの難しさや大変さを感じた。しかし、それと同時に、企画をしっかりと考えていくことの大切さや楽しさも感じた。企画、実行していく中で、同じ活動先のメンバー、活動先のスタッフの方々、障がい児を持つ親さんやボランティアさんなどの地域の方々の暖かさ実感した。実際に施設で利用者の方と触れ合い、障がい者支援の現場を知ることができた。普段の生活ではあまり関わることのできない障がい児（者）と関わりを持てたことは、来年実習を控えている私たちにとって、とても貴重な経験となった。また、障がい児とのコミュニケーションの回り方も学ぶことができた。障がいの有無という区別をせず、純粹に相手との会話を楽しむことが大切なのだと思う。

そして、NPO の重要性や多様性を学んだ。やりたいことをできる範囲で実現していこうという NPO の考え方が素晴らしいと思った。このサービスラーニングを通し、利用者の方や地域の方々に関わり、NPO 法人チャレンジドが様々な方々の居場所になっていることを知ることができ、NPO は地域になくてはならない存在だと感じた。

### 4. 後輩へのメッセージ

サービスラーニングでは、NPO の現場で実際に活動させていただくので、中途半端な気持ちではなく、「何を学び、何を得たいのか」という目的意識を明確にして、活動に臨むことが大切だと思う。目的をはっきりさせることで、計画を立てやすくなり、より楽しく活動していくことができるのではないかと思う。また、積極性もとても大切だと思う。実現できるかわからなくても、やりたいことや自分の考えを活動先の方に伝えることで、話し合いも活発になり、よりよい活動になっていくと思う。

チャレンジドでは、障がい児と関わるので、活動前にチャレンジドの事だけではなく、対象となる障がいについても調べておくことが大切である。チャレンジドは、スタッフの方々もとても優しく、とてもアットホームな環境なので、笑い合いながら、気楽に楽しく活動ができると思う。